

2010 インターン活動報告

OFFICIAL PARTNERSHIP

ホシノドリームズプロジェクト運営事務局

ホシノドリームズプロジェクト 三期生

平尾 夏子

(ひらおなつこ)



応募時年齢 22 歳
出身 東京都
インターン期間 2010 年 6 月 14 日～7 月 25 日
インターン先 トライシティダストデビルズ
所在地 ワシントン州パスコ

出発メッセージ こんにちは！
ホシノドリームズプロジェクト3期生として、トライシティダストデビルズにインターンをさせて頂ける事になりました平尾夏子です。

私は以前、埼玉西武ライオンズ専属ダンスパフォーマーという仕事を通して日本のプロ野球界と関わってきました。そして現在は、シアトルにあるコミュニティーカレッジでスポーツビジネスを学んでいます。

アメリカでの生活を通して感じる事なのですが、アメリカの球場では家族連れが主な顧客であり、世代を超えて皆がスポーツ観戦を楽しんでいます。球場の雰囲気からすでにエンターテインメントが至る所に存在しており、野球観戦だけではなく、インニング間のイベントなどファンの方が積極的に参加しています。様々な世代を魅了する米国大リーグの成功の秘訣は、エンターテインメント性のあるファンサービスが存在しているからなのでしょう。

そこで、今回のインターンシップでは主に、『ファンサービス』というものに重点を置いてアメリカのスポーツビジネスを肌で感じ、学んで参りたいと思います。
どうぞ宜しくお願い致します！

2010 年 吉日

スポーツで、強くなる。

平尾 夏子 現地報告書 (一部抜粋)

7月12日(月)【お祭りマンボ】 30日目 平尾

本日は、Kennewick General Hospital(KGH)が病院の関係者のために、Gesaスタジアムを貸し切って、試合までの時間にピクニックイベントを行いました。

一人につき23ドルを頂いて、300名のゲスト。ということは、6900ドルの予算が私たちにはあります。日本円で言うと、大体69万円！[この予算から何が出来るか？](#)

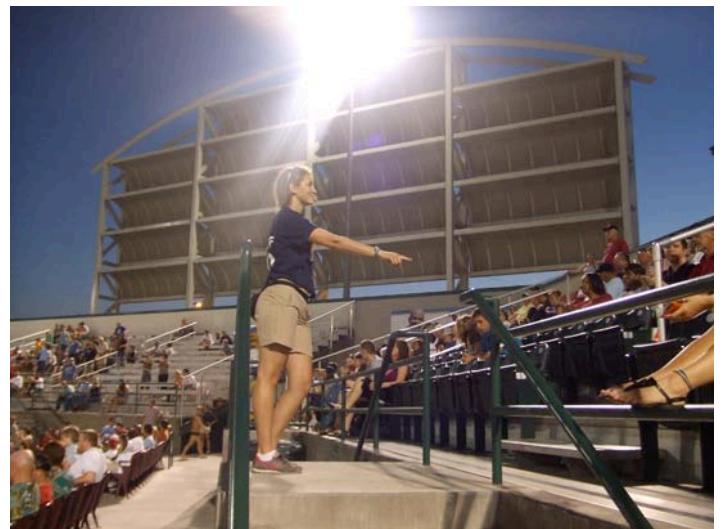
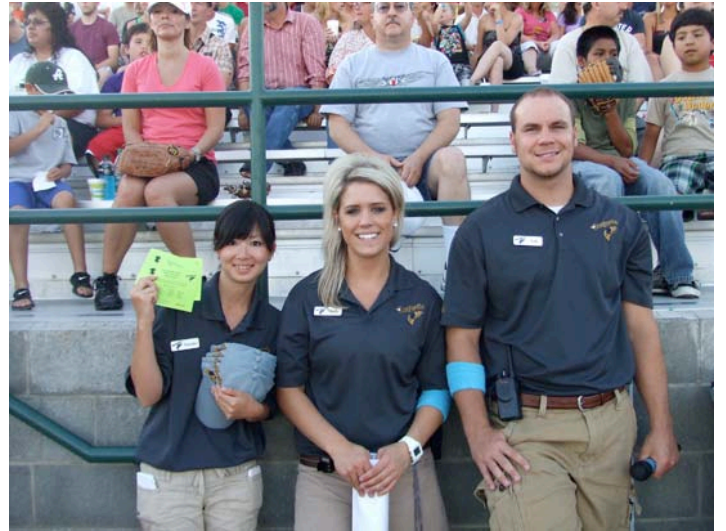
このイベントの責任者であるDennisは、子供達が楽しめるものを主に用意したそうです。

例えば、フェイスペインティング。予想以上の反響で、子供達の長蛇の列がみられました。ピエロは風船を作って子供達にプレゼント。その他にも、私たちが遊園地に行くと思われるようなゲームが沢山ありました。

このように、Gesaスタジアムがイベント会場になったり、野球場になったりと、工夫次第で様々な目的に使えるのだなと実感。

また、[地域の会社と提携する事で、ダストデビルズ側も地域密着型のファンサービスをしやすくなるような気がしました。](#)なぜなら、このような機会が潜在的な地元ファンを掘り起こすきっかけとなるからです。

そして、またGesaスタジアムが野球場に戻った時、地元ファンは野球というスポーツを通して、スタジアムでの時間を引き続き楽しんでいました。



ホシノドリームズプロジェクト 三期生

谷沢 太陽

(たにさわ たいよう)



応募時年齢 24歳
出身 兵庫県
インターン期間 2010年7月24日～9月3日
インターン先 トライシティダストデビルズ
所在地 ワシントン州パスコ

出発メッセージ はじめまして！
ホシノドリームズプロジェクト・インターンシップ3期生の谷沢 太陽と申します。

私は幼少の頃から野球が大好きでした。
大学卒業後、一般企業に就職しましたが、野球に携われる仕事がしたい！という思いが強く、スポーツビジネスの本場アメリカで、一から勉強させて頂く為に、今回のインターンシップに参加させて頂くことになりました。

大学時代に観戦したメジャーリーグは球場全体が熱気に包まれ、雰囲気とファンサービスはまるでテーマパークのようでした。いつかは、老若男女、誰もが楽しめるボールパーク作りを日本でも実現したいと考えています。

今回は、チケットセールス、球場でのイベント企画など「球団経営」に関わることを全てを学びたいと思っています。

今回、素晴らしい機会を与えて頂き、ご支援頂く全ての皆様に深く感謝いたします。
そして日本のスポーツ界に還元できるように全力で挑戦してきます。
皆様、よろしくお願い致します！

2010年7月吉日

谷沢 太陽 現地報告書 (一部抜粋)

8月20日(金)【それぞれの楽しみ方】 27日目 谷沢

これまで球場に来ているお客さんを見ていて、楽しみ方はそれぞれですが、大きく分けると2つのパターンがあることがわかりました。

まず、ダストデビルズを見に来ている純粋なダストデビルズファン。何年も来ている常連さんもあります。その多くの方々がシーズンシートを購入していて、その方々は毎試合のように球場で顔を見かけます。

もう1つは友人と話をしたり飲食したりして、球場の雰囲気を楽しんでいるファン。私はこちらのファンの方が多いように感じます。この方々は試合も、もちろん見ているとは思いますが、**勝敗に関心があるというよりは、球場をコミュニケーションの場として利用して楽しんでいるように見えます。**例えば、BBQエリアでお酒を飲んで騒いでいる方は試合が始まって、野球よりもずっとおしゃべりをして楽しんでいる方もいます。そして球場に流れる音楽で踊って楽しめます。

また、子供達は芝生の上で走り回って遊んでいます。(三塁側からレフトにかけて芝生のスペースがあります)このようなお客さんを見ていて思ったのですが、試合の無い日も球場を貸し出して、先日の試合前のキックベースのようなイベントを企画したり、大人数でのパーティーや誕生日会などに球場を貸し出しても面白いのではないかと思います。特に、**試合のない土曜、日曜に、これだけ良い球場を何も使わないのはもったいない**と思います。採算がとれるようにするにはそれなりの人数で参加してもらわないといけません、企画してみる価値は十分にあると思います。

